

昇圧薬

- 糖尿病患者や長期透析患者で自律神経機能障害が原因と考えられる場合は、ドロキシドパ、メチル硫酸アメリジニウムなどの経口昇圧薬を予防的に投与する
- ドーパミンやエホチールなどの持続投与
- 末梢血管の収縮作用がある薬剤については、下肢虚血や未治療冠動脈疾患がある患者への適応は慎重に検討する

昇圧薬

薬 剤 名	特 徴	使い方
リズミック® (メチル硫酸アメリニウム)	末梢神経末端からのノルアドレナリン放出を刺激する 投与3時間で最高血中濃度に達する	透析開始前に服用すると透析中の低血圧予防になる
ドプス® (ドロキシドパ)	ノルアドレナリン前駆体 投与後6時間で最高血中濃度に達する	透析開始1時間前に服用する 常時低血圧患者にも勧められる
メトリジン® (塩酸ミドドリン)	末梢の α 受容体を刺激する 作用発言は緩徐で作用時間が長い	常時低血圧、起立性低血圧の治療に使われる
エホチール® (エチレフリン塩酸塩)	α 受容体を刺激 心拍出量増加、末梢血管抵抗減少、循環血液量増加作用がある	透析中に持続投与する
ネオシネジン® (フェニレフリン塩酸塩)	選択的 α 1刺激薬 末梢血管の収縮により昇圧する	透析中に持続投与する
カフェイン	交感神経刺激作用とレニン・アンジオテンシン系活性化作用 アデノシンの血管拡張を抑制する 下肢血行不全や冠動脈疾患の患者には使用しない	透析開始後2時間で100~300mg投与する